

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 6月号
平成27年6月29日
校長 奥田 修也



私が私と話すとき

教頭 高橋 勝

先月、本校を会場にして海外子女教育振興財団による海外学校説明会・相談会が開かれました。積極的に帰国生を受け入れている国内7校の中・高等学校担当者と、100名ほどの保護者・児童生徒が集まりました。財団教育相談員による講話、参加校担当者によるパネルトーク、参加校プレゼンテーション、個別相談会と盛りだくさんの内容で、帰国後の学校選択に役立ったのではないかと思います。

パネルトークの際、参加校の担当者に、どんな生徒に来てほしいかという質問がありました。印象に残ったのは、いろいろな子に来てほしいという回答でした。受入校が期待しているのは、帰国生が一般生徒といっしょに学ぶことで、互いに啓発しあい、より豊かな価値観や人間観をもつようになることだそうです。どの学校の回答にも共通していたのは、個性や多様性を尊重したいという思いです。そこで、面接や論文を通して、どれだけ帰国生が現地でがんばっていたかを確認めたいと話していました。ペーパーテストの点数だけでなく、受験生の潜在的な能力にも期待しているわけです。

この話を聞いて、「ジョハリの窓」を思い出しました。これは心理学でよく使われる、自分と他人の間のコミュニケーションをモデル化したものの通称です。人には「自分も周りも知っている自分（開放の窓）」、「自分だけが知っている自分（秘密の窓）」、「周りだけが知っている自分（盲点の窓）」、「自分も周りも知らない自分（未知の窓）」の四つの窓があり、これらのうち「自分も周りも知っている自分」の拡大が成長につながるという理論です。

四つの窓のうち、興味深いのは「未知の窓」です。新しい環境でさまざまな経験を積み重ねれば、誰でもそれまで気付かなかった新たな自分に出会えるかもしれないという期待をもたせてくれます。未知の窓は、子どもたちの可能性が無限であることを示唆しています。

かつて本校の卒業生がこんな短歌を作りました。

— 十四の春に進路を考えて私は初めて私と話した（平成16年度海外子女文芸作品コンクール入賞）

人は成長とともに、自分は自分であることに気が付き、自分の意思で行動するようになるといわれています。子どもたち一人ひとりに自分自身と対話する機会を与え、それをサポートするのが学校の進路指導です。

1学期が終われば、中3の生徒たちは夏休み中の高校見学を経て、10月から志望校の絞り込みに入ります。「私」をみつめ、友だちや教員と語り合う中で「なりたい自分」を探しはじめたわが子に、親としてどのような働きかけが必要か、ご家庭でもさまざまにお考えいただければ幸いです。

親子読書週間を終えて

学習部



今年度も1週間継続して、親子読書に取り組んでいただきました。子どもたちの読書習慣を身につけることに加え、親子いっしょに読書活動に取り組んでいただくことで、親子のふれあいを深めることをねらいとしました。

展示された読書カードを見ていますと、どの児童もたくさんの本との出会いがあったことが伝わってきました。また、お互いに他の児童のカードを見合うことで、今後の活動への意欲につながったように感じます。

保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もこれをきっかけに、お子さんと一緒に読書活動を楽しんでいただけたらうれしいです。ありがとうございました。

中学部修学旅行を終えて

中学部

今年度中学部は、四川省の成都、楽山方面へ修学旅行に行ってきました。世界最古の水利施設の都江堰、三国志の世界に出てくる劉備、諸葛亮孔明を祀った武侯祠、学校交流、パンダ基地、楽山大仏などを見学、中国の雄大さ、歴史の深さなどを直接感じることができました。また食事では麻婆豆腐発祥の地ということで、その辛さも体験してきました。

今回の修学旅行のイベントの一つに、現地校との交流活動がありました。一生懸命名刺を作成し、英語での発表準備、「ふるさと」の合唱練習、ダブルダッチの練習等様々な準備をして出かけました。当日の交流活動ではアクシデントがありましたが、生徒は柔軟に対応でき楽しく交流ができました。

この成果を13日の保護者日本人会参観日に、グループ毎にポスターセッションを行い、修学旅行の成果を発表することができました。昨年度より始めた事前学習の成果もあり、中味の濃い発表になったと思います。

大きな事故や病気もなく、素晴らしい修学旅行を無事に終えることができました。これは、日頃からお世話になっている保護者の皆様のご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。



ただいま 何人?

小学部

平成27年6月29日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	11	12	23	4-1	11	14	25
1-2	10	11	21	4-2	12	13	25
1-3	11	10	21	5-1	13	11	24
2-1	11	14	25	5-2	15	12	27
2-2	13	14	27	6-1	9	9	18
3-1	15	12	27	6-2	9	9	18
3-2	15	12	27	小総計	155	153	308

中学部

1-1	13	9	22	3-1	8	6	14
1-2	13	9	22	3-2	9	5	14
2-1	6	10	16	中総計	54	49	103
2-2	5	10	15	総合計	209	202	411